

# ■ 輸送機関のコロナウイルス対策について（貸切バス・新幹線）

## イ 貸切バスにおける感染症対策

### 参考となる業種別ガイドライン

「バスにおける新型コロナウイルス感染予防対策ガイドライン」((公社)日本バス協会)  
「貸切バスにおける新型コロナウイルス対応ガイドライン」(貸切バス旅行連絡会)

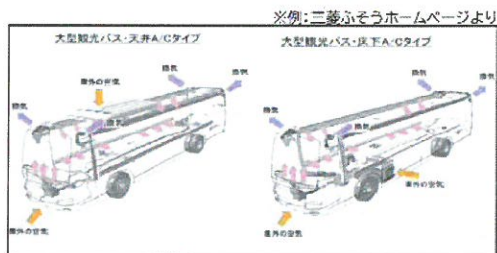
### 修学旅行に配慮した感染症対策の取組例

#### 取組例① 車内対策

- ・ 車内の消毒液、抗菌おしぼり等の設置 **写真A**
- ・ 運転席とその後部座席との間の飛沫防止シート(仕切り版)の設置
- ・ 利用者の降車時や入庫後の車内清掃や消毒、窓開け換気
- ・ 外気導入モードによる車内換気(約5分で室内の空気を入れ替え)、乗客降車時の窓開け換気



写真A



- ・ 通路での滞留防止の工夫(小グループに分かれての乗車、車内アナウンスによる降車時の順次の離席)
- ・ できる限りの配席の工夫
  - \* 学校の御希望やバスのチャーター数等によるため、必要に応じて、旅行業者やバス事業者と事前の連絡調整をお願いします。

<参考>各輸送機関の座席について  
「旅行関連業における新型コロナウイルス対応ガイドラインに基づく国内修学旅行の手引き」においては、

- ・ 乗り物内の換気機能を最大限に作動させ
- ・ 全員がマスクを着用し、会話を控えること を前提として、
- ・ 1人1席ずつの座席利用を基本とする

とされています。

#### 取組例② 乗務員(ドライバー、ガイド)の感染防止

- ・ 出庫・入庫点呼時等、通常の状態のチェックに加え、検温の実施
- ・ 乗務中のマスク着用
- ・ 手洗い、手指の消毒、うがいの励行
- ・ 荷物積み込み時のドライバーの手袋着用
- ・ ガイドの前向き着席(マスク着用のうえ、配席の工夫を行えば、利用者のニーズに応じた対応は可能)

## エ JR(新幹線)における感染症対策

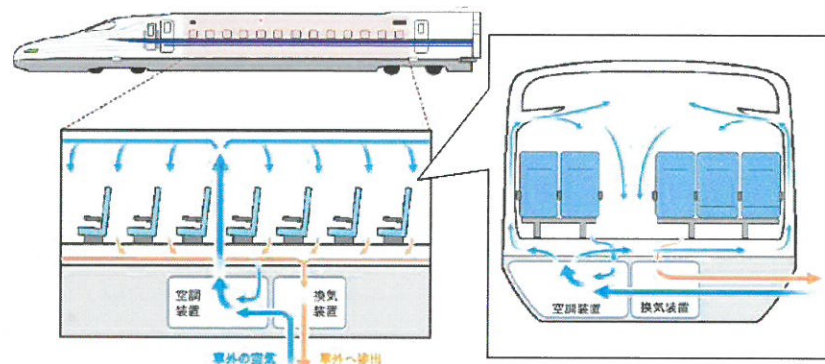
※JR各社の取組の詳細は、各社のホームページ等によりご確認ください。

### 感染症対策

#### 取組① 車内換気

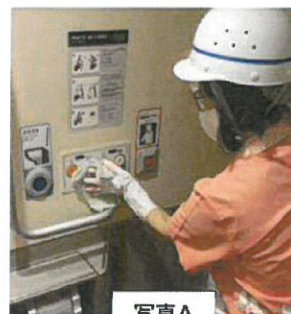
- ・ 空調・換気装置により、常に外の空気との入れ替えを実施(計算上では約6~8分で車内の空気が新しい外の空気と全て入れ替え)

(空気循環イメージ)



#### 取組② 車内の清掃・消毒

- ・ 車両清掃時、トイレのドアノブ等の利用者の手が触れやすい箇所を定期的に消毒(なお、新幹線車両は基本的に毎日消毒を実施) **写真A**
- ・ 車掌が車内巡回時、消毒液を用いてトイレのドアノブ等を消毒 **写真B**



写真A



写真B

#### 取組③ 駅構内

- ・ 新幹線全駅に消毒液を設置
- ・ 券売機等の利用者の手が触れやすい箇所を基本的に毎日消毒

#### 取組④ 駅社員・乗務員の感染防止

- ・ マスク着用や手洗いの励行